路面電車と都市の未来を考える会
RACDA
かわら版
人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA
第60号
2008/7

MOMO DE ビアガー電

Text by 岡 将男

■最近は新幹線に乗っても、食堂車というものがない。以前、「グランドひかり」が走っていた頃は、二階建て部分の食堂車は、眺望もよく、人気もあったのだが、「のぞみ」の登場を契機に廃止されてしまった。

鉄道旅行の楽しみの一つは、列車の中の食事である。「食堂車の食事にはスピイドという味付けがある」と岡山出身の文章家・内田百閒は書いている。百閒は阿房列車の中でも、乗っている時間の半分くらいは食堂車に行ってビールを飲んでいたこともあるほどだ。駅弁でも列車の中で食べる事が、味付けになっている。デパートの駅弁大会で買った駅弁を、家で食べたのでは味気ない。

列車とバスの違いは、鉄道の方が飲食がしやすいだけでなく、車内を歩き回れることにある。最近では飛行機のように高速バスでも、シートベルトをしなくちゃいけなくなったが、電車でシートベルトをしようということにはならないだろう。それは鉄道というシステムが安全度・安定度では車や飛行機に比べてはるかに「軌道に乗っている」事を現している。鉄道に乗って、飲んで食べて、見ず知らずの人と車内で歩き回って交流する、というのは本来鉄道旅行の重要な要素なのである。そこにお互いを尊重しあい、いたわりあう思想も生まれてくる。だから現代の過度に発達した自動車社会では、人間関係が希薄になるのは仕方がない。そこでRACDAは岡山の楽しいまちづくりを演出する、“世界一”豪華な路面電車MOMOの車内をだれでも交流できる空間として一般の人に楽しんでいただくイベントを開始する。

第一弾は「ビアガー電」。7月7日なので、七夕電車としてプレイベント、そして月末からは本格運行、一般の方からの予約開始です。今回の服装はカジュアルですが、将来は「豪華客船クルーズ」のパーティの様に「正装（フォーマル）」で、カクテル電車やワイン電車も開催してみたい。なおパーティーや同窓会などの貸切もいたします。

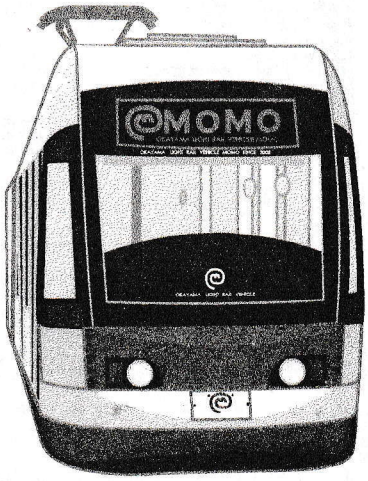
実施日時 平成20年7月7日（月）

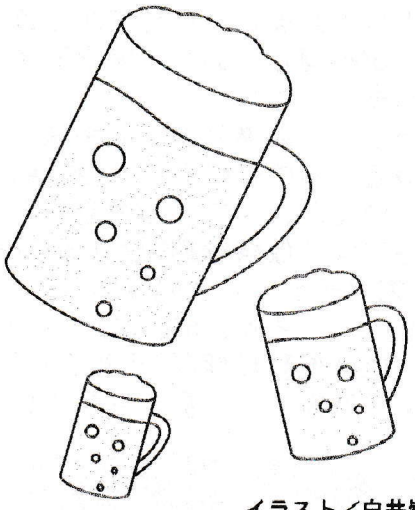
第一回「七夕・ビアガー電」

としてイベント実験、出発式も行います。
以後7月25日（金）8月8日（金）8月22日（金）8月29日（金）

使用電車 MOMO　　料金　一人3500円　食事つき
定　員 着席定員22名（貸切の場合30名程度でも可能、貸切料金は岡電まで）
行　程
18:50　岡山駅集合
19:00　岡山駅MOMO到着
　　出発式テープカット（参加者の中から、抽選で3名）
19:10　岡山駅出発→東山往復→岡山駅・トイレ休憩→清輝橋往復→岡山駅
20:53頃　新西大寺町電停で、田町中央町方面下車可能
21:00　岡山駅到着、解散、東山線沿線の方は下車可能

ビール 内田百閒の大好きな生の恵比寿ビール飲み放題（サッポロビール協力）
ドレスコード カジュアル
予約先 岡山電気軌道(086-272-5520)





イラスト／白井崇裕

路面電車と都市の未来を考える会 RACDA
事務局　〒700-0823　岡山市丸の内1-1-15（禁酒会館3F）TEL&FAX 086-232-5502
E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp　RACDA事務局　wiki　検索
詳しくはhttp://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/まで